

第1345回経営委員会議案

(議決事項)

2020年1月15日

2020年度（令和2年度）国際放送番組編集の基本計画について

2020年度（令和2年度）の国際放送番組の編集について、別冊のとおり基本計画を策定した。ついては、定款第15条第1項第1号ケの規定により議決を得たい。

2020年度
(令和2年度)

国際放送番組編集の基本計画
(案)

国際放送局

目次

編集の基本方針	1
編集の重点事項と各波の編集方針	
1. NHKワールド JAPAN	
(1) テレビ	2
(2) ラジオ	3
(3) インターネット	4
2. NHKワールド・プレミアム	5
3. NHKワールド・ラジオ日本	6

編集の基本方針

東京オリンピック・パラリンピックの開催年となる2020年。日本に対する世界の関心が一気に高まります。オリンピック・パラリンピックの熱狂とそのレガシーやさまざまな変化も見込まれます。NHKの国際放送は、視聴者・聴取者のニーズを捉えながら、日本の公共メディアとして、正確で公平・公正な情報を世界に発信します。放送だけでなく、インターネットも活用してスマートフォンやパソコンなどの端末やソーシャルネットワークサービス（SNS）への展開も一層推進します。また、多言語化を積極的に進め、世界の人々に向けて質の高いサービスを届けます。

「NHKワールド JAPAN」の外国人向けテレビ国際放送では、東京オリンピック・パラリンピックとそれにより転機を迎える日本の姿を、ニュースと番組、インターネットを活用して世界に伝えるとともに、持続可能な社会の実現に向けた活動なども積極的に取り上げます。また、災害時などの緊急報道では、多様な発信経路を活用して訪日・在留外国人に向けた安全・安心情報を発信します。

また、インターネットのサービスでは、使い勝手を考慮するなどの改良にとりくむとともに、ストリーミング、ビデオ・オン・デマンド（VOD）、SNSを融合した多言語サービスを実現します。

外国人向けラジオ国際放送では、ニュースをはじめ防災・減災情報、日本での滞在に役立つ生活情報、日本語学習などを、全世界に向けて17の言語で発信します。ラジオ第2放送でも、年々増加しているアジアからの訪日・在留外国人に向けてタイ語のニュースを新設し、ベトナム語・インドネシア語と合わせて夜間に編成するなど、国内にいる外国人へのサービスをさらに強化します。

在外邦人向け国際放送では、テレビ放送「NHKワールド・プレミアム」とラジオ放送「NHKワールド・ラジオ日本」を通じて、日本の“いま”を丁寧に伝えます。また、災害時には、正確・迅速な情報の提供に努め、海外で暮らす日本人や旅行者の安全・安心を守る“日本語のたしかな情報源”としての役割を果たします。

1. NHKワールド JAPAN

(1) テレビ（英語・外国人向け放送）

・“東京2020”の舞台 日本を紹介

東京大会の開催都市や日本各地のホストタウンについての情報を発信する番組、ホストタウンと相手国とのつながりを伝える番組を制作するほか、聖火リレーの模様もコンパクトにまとめ、発信します。また、東京大会の開催時期に、競技結果のほか、スポーツの歴史や競技の魅力・見所を紹介します。

・多彩な発信経路でニュースを強化

毎正時のニュースでは、新設するニューヨークスタジオを活用して、多彩なニュースを日本やアジアからの視点も交えて伝えます。地震や台風などの災害時には、総合テレビとの連携を強化するとともに、SNSや多言語によるニュース配信をすることで、安全・安心情報の提供を強化します。

・新共生時代～日本社会とレガシー～

多文化の共生を目指す日本各地の外国人コミュニティに焦点をあてた番組や日本の暮らしに関する外国人の疑問に答える番組、自然災害の多い日本における防災の工夫を伝える番組、世界的な課題に日本・アジアの視点で向き合う番組を充実させます。あわせて、多言語展開を推進するとともに、放送と連携したデジタル展開も強化します。

・「国内・国際連携」で豊かなクオリティコンテンツ

海外の視聴者にも関心が高い医療・健康をテーマにした番組や、ドラマや音楽など多彩な日本の魅力を発信する番組、NHKならではのドキュメンタリー番組や地域放送番組の英語化など、国内放送とのマルチユースを引き続き推進します。

〔放送時間〕

世界全域…1日23時間以上が基本

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

(2) ラジオ（17言語・外国人向け放送）

・安全・安心に役立つ情報の発信を強化

災害や大きな事件・事故の際には機動的に対応し、最新のニュースを的確に伝えます。防災・減災については、引き続き日本のノウハウなどを発信し、世界のリスナーに安全・安心を届けます。年々増加しているアジアからの訪日・在留外国人に向けても、ラジオ第2放送との連携をさらに強化し、最新情報を届けます。

・日本への理解を深める情報・日本滞在時に役立つ情報を発信

日本への関心が大いに高まる2020年、日本の文化や魅力、地域の話題などを引き続き取り上げ、訪日意欲や日本への理解を促進します。また、アメリカの公共ラジオに番組を提供する試みをスタートし、日本をより身近に感じてもらうとともに、「NHKワールド JAPAN」の存在感を高めます。

〔放送時間〕

世界全域…1日およそ40時間35分（17言語合計）

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上を編成します。

(3) インターネット

- **ユーザー視点にたったサービスの充実**

テレビとラジオを統合した新アプリやウェブサイトのバージョンアップにとりくみ、災害時のインターネット発信をさらに充実させます。テキスト、動画、音声をわかりやすく配置し、ユーザーのニーズや使い勝手を考慮したインターネットサービスを展開します。

- **SNSを活用した発信を強化**

ニュースのショート動画をSNSで発信するなど、さまざまな特性とユーザー層を持つインターネットメディアをフル活用して、NHKワールド JAPANの認知向上を図ります。

- **多言語コンテンツ発信の強化**

AIによる自動翻訳を活用した多言語字幕付与サービスをストリーミングで実施するなど最新技術も活用し、より多くの方にNHKの豊富なコンテンツを届けるための施策を実施します。中国語発信については、簡体字に加えて繁体字発信も充実させ、多彩なコンテンツを届けます。

2. NHKワールド・プレミアム（日本語・在外邦人向け放送）

- “東京2020” を迎えた日本のいまを伝える

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた日本各地の動きや競技結果を、ニュースなどを通してくわしく伝えます。また、2020年から先の課題や解決策を、さまざまな角度からわかりやすく伝えます。

- 海外の日本人の「安全」と「安心」を支える

海外で暮らす日本人や旅行者の命と暮らしを守る重要なライフラインとして、内外で頻発する自然災害や、大きな事件・事故などの際には、機動的にニュースを編成するなど、迅速かつ的確な情報の提供に努めます。

〔放送時間〕

世界全域に向けた同一の番組編成…1日およそ5時間

北米・欧州地域に向けた、現地の生活時間にあわせた番組編成

…各1日およそ5時間

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組80%以上、インフォメーション番組5%以上、娯楽番組を若干編成します。

3. NHKワールド・ラジオ日本（日本語・在外邦人向け放送）

- ・最新のニュース・番組、安全・安心情報の提供

国内のニュースや情報番組、スポーツ中継など、2020年を迎えた日本の“いま”を届けます。また、災害や大きな事件・事故の際は最新のニュースを国内と同時に伝えるほか、毎日、海外安全情報を伝え、海外で暮らす日本人の安全・安心を守ります。

〔放送時間〕

世界全域…1日あたり24時間（日本語）

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について、報道番組60%以上、インフォメーション番組25%以上、娯楽番組を若干編成します。